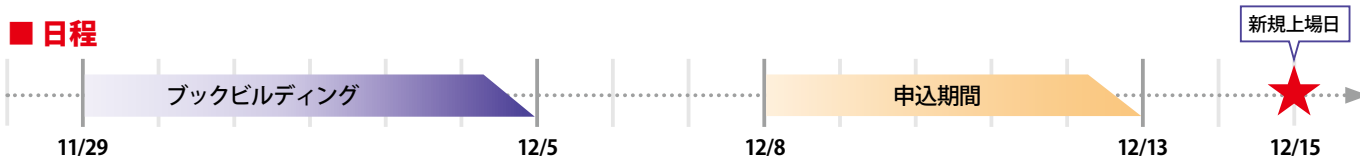


## IPO銘柄 イオレ (2334・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
2334	100株	公募: 14.00万株 売出: 11.50万株 (OA3.82万株)	1,750円~1,890円 (28.8倍)	SBI証券

### ■ 日程



## 「らくらく連絡網」や「pinpoint」を提供

### ■ 事業内容

グループコミュニケーション支援サービス「らくらく連絡網」、プライベートDMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）サービス「pinpoint」を中心としたインターネットメディア関連事業を手掛ける。「らくらく連絡網」は顧客企業からの広告収入で運営するが、利便性を高めた有料版もある。「らくらく連絡網」のデータベースを生かしたサービスにも取り組み、大学生に特化したアルバイト求人情報提供サイト「ガクバアルバイト」、一括応募ができるアルバイト求人情報ポータルサイト「らくらくアルバイト」も展開中。「pinpoint」は同社および提携パートナーの保有するユーザーデータを活用し、精密なセグメント設定に沿った広告配信を可能とする広告サービス。インターネットメディア事業の単一業態。

### ■ 特徴

「らくらく連絡網」には、部活動、サークル、ゼミ、少年スポーツチーム、PTAなど、団体やグループでの活動に必要な出欠確認、日程調整、アンケート、安否確認といった大量の連絡を一斉に送信できる機能がある。パソコン、スマートフォンに限らず、あらゆるデバイスに対応している点が強み。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

18年3月期の非連結経常利益は前期比58.7%増の1億7,800万円を予想する。スマートフォンの普及、SNS利用頻度の向上がビジネス拡大の追い風。足元、「らくらく連絡網」が好調に推移して全体の業績をけん引。各サービスへの機能拡充にも力を入れている。

### ■ 定性分析

ニッチ分野に特化したネット企業であり、IPOマーケットで人気化しやすいタイプの案件とみる。今年7月には凸版印刷（7911）と資本提携を行い、ネット広告サービスでの連携を発表するなど、大手企業との共同展開にも期待が高まっている。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は5億円程度。新興市場上場案件としても軽量感の強い規模で、ベンチャーキャピタル保有株もない。IPO案件の集中する中でも資金分散の影響を受けにくい規模であり、需給主導で大幅な初値上昇が期待できそうだ。（小泉健太）

### ■ 類似企業

イオレ(2334・マザーズ)	予想PER28.8倍 (仮条件上限)
サイボウズ (4776・東証1部)	予想PER100.4倍
フリークアウト・ホールディングス(6094・マザーズ)	予想PER130.1倍

### ■ 引受証券

SBI証券、みずほ証券、SMBC日興証券、マネックス証券、藍澤證券、岩井コスモ証券、極東証券、東洋証券、むさし証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
16年3月期(実績)	950	22.9	14	26.2	-159	赤転	—	—
17年3月期(実績)	1,157	21.9	112	7.7倍	127	黒転	83.9	—
18年3月期(会社予想)	1,541	33.1	178	58.7	125	▲1.3	65.6	—

※ 17年8月に株式分割(1株→100株)を実施、17年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
16年3月期	15,198	626,910	191,351	382	115.4	28.0	—
17年3月期	15,198	706,400	318,928	382	199.4	42.9	42.1

※ 16年3月期と17年3月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	吉田 直人	640,200	26.48
2	五六	274,000	11.33
3	小川 誠	146,300	6.05
4	凸版印刷	145,000	6.00
5	中井 陽子	104,000	4.30
6	KEIアドバンス	100,000	4.14
7	アルファステップ	82,500	3.41
8	本郷 孔洋	65,100	2.69
9	一條 武久	54,900	2.27
10	毎日コムネット	50,000	2.07

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	吉田 直人
専務取締役(事業統括部管掌兼メディア営業部管掌)	小川 誠
取締役(第1技術開発部管掌兼第2技術開発部管掌)	一條 武久
取締役(経営管理部管掌)	中井 陽子
監査役(常勤)	秋本 実
監査役(非常勤)	大山 亨
監査役(非常勤)	田島 正広

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。